

(別紙様式4-3)

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科1年) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ファッションビジネスⅠ	ファッションビジネス業界において、産業の構造（繊維、アパレル、小売）と現状を理解し、その特徴と問題点、社会と消費者の変化、国際環境の変化など、ファッション業界の変遷と実態を学ぶ。	1・通年	60	3	○			○	○			
○			グローバルビジネスⅠ	グローバルファッションとは何か？世界のファッション構造はどの様になっているのか？何故今、グローバルな思考が重要なのか？グローバルで戦う為に必要な国際意識を植え付け、創造的な“検索力・情報収集力”“分析力・編集力”を磨き、“正解のない問題”に対して、“考える力・解決する力”を鍛え、“伝える力”を育成。また、国際社会で重要な“議論する力”“質問力”を磨き、人工知能が持たない創造性豊かなビジネス思考を育成。	1・通年	60	2	○			○	○			
○			マーケティング	目的を持って情報収集し整理分析する力、アイデアを出す力を身につける。そのためマーケティングの基礎であるリサーチから始め、その情報をもとにどのようにアパレル業界は運営されているのか、講義、実習を通して学ぶ。また「調べる・見る・聞く」の実践を通し、客観的にモノを見ることの重要性を理解する。	1・通年	90	3	○		△	○	△	○		
○			アパレル商品構成基礎	商品構造を理解する。縫製技術の基礎を学び、アイロンがけなど、商品の適切な扱い方を学ぶ。	1・前期	30	1	△		○	○	○			
○			アパレル商品論Ⅰ	講義・実習を通し、ファッション業界に必要な商品知識を習得、向上を目指す。また、グローバルに活躍する人材として、グローバルファッションのトレンドや地域性による商品の違いを商品やコレクション、雑誌の情報から知る。	1・通年	90	3	○		△	○	○			

○			アパレル素材論	アパレルの主素材である布地の種類と性能の基本を理解させ、応用力を養わせることを教育目標とする。 布地を理解し商品対応するには、布の構成要因となる繊維、糸、織、編、レース、染色、加工などの各々の種類、性質などを複合的に捉える必要があるため、授業は繊維から系統的に展開し、講義に加え、演習・実験・実習を含め理解を促し、実践的なものにする。レベルは、高度専門士としてファッションビジネスに携わるための礎を得られる設定である。	1・通年	60	2	○	△	△	○	○		
---	--	--	---------	--	------	----	---	---	---	---	---	---	--	--

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科1年) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ファッション色彩	ファッションの色彩に関する基礎的な知識と技術を、講義と実習を通して身につける。色彩の体系、色彩の科学、色彩心理、配色の基礎、ファッションカラーコーディネーションについて学び、ファッション流通の現場で生かすことを目標とする。	1・通年	60	2	○		△	○		○		
○			ファッションコーディネート	時代への適応力を持ち合わせ、客観的に捉えたファッションコーディネートの提案能力を養う。 実物を使用して、実践的に取り組みながら学習することを目標とする。	1・通年	60	2		△		○	○		○	
○			ファッション販売	販売員の仕事を理解し、知識と技術を体得する。販売員として、お客様を「おもてなしする」という意識付けや知識、技術を習得する。社会人に必要な言葉遣いや立ち居振る舞い（販売マナー・ビジネスマナー）を習得する。	1・前期	30	1		△		○	○		○	
○			ファッション史	ファッション史の通史的、概論的講義。古代から現代に至る西洋を中心とした歴史の流れと服装の推移発展を理解させる。特にヨーロッパの服装の変化と特性に重点を置き、現代ファッションの生成を理解し、学生が今後ファッション業界でその知識を活かせるようにする。	1・通年	60	2	○				○		○	

○			コンピュータワーク I	オフィスソフト・グラフィックソフトを用いて、目的・用途に応じて使い分けることができることと表現方法に広がりを持たせることを目標とする。また、クラウドを活用してのデータ共有等の現場活用できる利用方法を習得する。 ドロー系ソフト/Illustratorの基礎とペイント系ソフト/Photoshopの基礎 オフィスソフト/Excel・PowerPointの基礎	1・通年	60	2	△			○	○		○			
		○	ソーイング a(グローバル造形選択 A)	上半身の体型を理解し、トップスリメイク実物作品を完成させて、コーディネートテクニックを学習させる。各自のデザインに応じた製作方法を指導し、理解させる。	1・前期	30	1				○	○		○			
		○	ソーイング b(グローバル造形選択 A)	ボトムs知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。各自のデザインに応じた製作方法を指導し、理解させる。	1・前期	30	1				○	○		○			
		○	アクセサリ a(グローバル造形選択 A)	コーディネート・撮影に使えるアクセサリの制作【樹脂・アメリカンフラワー】	1・前期	30	1				○	○		○			

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科1年) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
		○	アクセサリ b(グローバル造形選択 A)	用意された革の教材(パターン裁断、革漉きをしたパーツ)を使い、手縫いで革の二つ折りサイフを制作し、レザークラフトの基本知識を習得できるレベルにもっていく。	1・前期	30	1			○	○		○			
		○	ソーイング a(グローバル造形選択 B)	上半身の体型を理解し、トップスリメイク実物作品を完成させて、コーディネートテクニックを学習させる。各自のデザインに応じた製作方法を指導し、理解させる。	1・後期	30	1			○	○		○			
		○	ソーイング b(グローバル造形選択 B)	ボトムs知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。各自のデザインに応じた製作方法を指導し、理解させる。	1・後期	30	1			○	○		○			
		○	アクセサリ a(グローバル造形選択 B)	コーディネート・撮影に使えるアクセサリの制作【樹脂・アメリカンフラワー】	1・後期	30	1			○	○		○			

		○	アクセサ リーb(グ ローバル造 形選択B)	用意された革の教材(パターン裁断、革漉き をしたパーツ)を使い、手縫いで革の二つ折 りサイフを制作し、レザークラフトの基本知 識を習得できるレベルにもっていく。	1・ 後期	30	1			○	○		○			
○			自由研究	4年次で実施する「マイビジネスプロジェクト」立案に向けて1年次において自らの方向 性を確立させるべく、様々な物事に対して 「調べる・見る・聞く」を実践。その都度記 録を残す習慣をつけるために、自由研究ファ イルを作る。最終的には、成果発表を実施す る。	1・ 通年	60	2	△		○	○	△	○			
		○	短期語学留 学 a	グローバルを視野に入れ、語学力のスキル アップを目的とする。日頃の授業では得られ ない、語学力とコミュニケーション力を高め る経験をするため。	1・ 集中	30	1		○			○		○		
○			ENGLISH COMMUNICATI ON I	会話を中心とした授業構成とする。シンプ ルな英語を使ってコミュニケーションをとり、 英語を使う楽しさや今後のキャリアに英語が 必要な具体的なイメージを学生に持たせるこ とを目標とする。	1・ 通年	60	2		○		○		○			
		○	英会話a (グローバル 語学選択A)	初級程度の英文法を学んだ学生を対象に、文 法の復習と口頭でのアウトプットを主な目標 とする。ファッションを専攻している学生を 対象としているため、ファッション関連の語 彙を増やすこと、ファッション関連の表現に接 することにも重点を置いたプログラムとして いる。レベルは初級(中位)から中級まで。	1・ 前期	30	1		○		○				○	
		○	英会話a (グローバル 語学選択B)	初級程度の英文法を学んだ学生を対象に、文 法の復習と口頭でのアウトプットを主な目標 とする。ファッションを専攻している学生を 対象としているため、ファッション関連の語 彙を増やすこと、ファッション関連の表現に接 することにも重点を置いたプログラムとして いる。レベルは初級(中位)から中級まで。	1・ 後期	30	1		○		○				○	

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科1年) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	英会話b (グローバル語学選択A)	様々なシチュエーションを想定し、クラスメイトと英語でコミュニケーションをとる。会話中心の授業をとるため学生には積極的な発言が求められる。授業は原則として英語で行う。	1・前期	30	1		○		○			○	
		○	英会話b (グローバル語学選択B)		1・後期	30	1		○		○			○	
		○	中国語 (グローバル語学選択A)	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」をマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら文型入り、実践練習で会話表現を覚えます。初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。準中級段階では、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喻表現についてトレーニングします。中検4級基準。	1・前期	30	1		○		○			○	
		○	中国語 (グローバル語学選択B)		1・後期	30	1		○		○			○	
		○	日本語 (グローバル語学選択A)	留学生が本科の授業について行けるよう全般的な日本語の学習、特に表現力をつける学習を行う。更に専門用語リストやファッションニュースで専門語彙を増やすこと、自分の作品を日本語で表現することを目標とする。相手に伝わる日本語を話すための発音練習も行う。	1・前期	30	1		○		○			○	
		○	日本語 (グローバル語学選択B)		1・後期	30	1		○		○			○	
		○	フランス語 (グローバル語学選択A)	初めて学ぶフランス語の音と仕組みに母国語とは異なる面白さを感じられるよう、個々の興味を促し、発音練習を楽しめるように講義を行う。「聴く、話す、読む、書く」を通じてフランス語の基本文法を理解しながら、挨拶と自己紹介、平易な質疑応答が出来るレベルを目指す。音楽、香り、ファッションなどフランス文化の話題も紹介し、実際にファッションブランドのフレグランスやフランス語の歌を鑑賞する機会も提供する。	1・前期	30	1		○		○			○	
		○	フランス語 (グローバル語学選択B)		1・後期	30	1		○		○			○	

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科1年) 2021年度

分類						授業方法	場所	教員
----	--	--	--	--	--	------	----	----

必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	企業等との連携
○			キャリアディベロップメントⅠ	フィールドワーク課題、自由研究課題を通し、自分の興味を明らかにし、ビジネススキルを修得する ・自分を掘り下げて、ファッションと自分の原点を探る ・興味のあるファッション情報や社会課題などに着目する ・研究、調査方法を磨く ・文章作成やプレゼンテーションを通じた表現力を磨く ・チームワーク力を磨く	1・通年	60	2	○	△		○		○		
○			特別講義Ⅰ	個々に持つファッションへの興味を「マイビジネスプロジェクト」として結実させるために、ぜひとも知っておきたい生活文化や人文科学の分野などから特別講義として実施する。 ・レギュラー授業の中に収めることが難しいが、学びの入り口として重要な要素を特別講義として導入 ・ファッションを知り、ビジネスを知り、自分を知る中で大切な視点を反映させる。	1・通年	60	2	○			○		○		△
○			校外研修Ⅰ	・学内における平常授業ではなかなか学びきれないコミュニケーション力や表現力をアップさせるために実施する。	1・前期	30	1		○			○	○		
○			フィールドワーク	専門科目、関連科目の授業の進行に合わせた場所を実際に訪れ、その対象を直接観察し、客観的な情報を集め調査分析をする力を身に着ける。	1・後期	30	1		○			○	○		
合計			17科目		990単位時間(33単位)										
卒業要件及び履修方法									授業期間等						
単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること									1学年の学期区分			前・後期			
									1学期の授業期間			15週			
(留意事項)															
1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。															
2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。															
授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科2年) 2021年度															
分類															
										授業方法		場所		教員	

必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	企業等との連携
○			ファッションビジネスⅡ	1年で学んだことを基礎として、時代の変化を捉え、潮流となりえるビジネスについて、事例を踏まえて現状と今後について学ぶ。また、ロジスティクスやECビジネスの後方業務など、普段は見えない範囲へも視点を広げてゆく。	2・通年	60	2	○			○		○		
○			グローバルビジネスⅡ	グローバルな視点とクリエイティブな視点で、スピーディーに変化する世界のファッションビジネスの重要ポイントを分析。グローバルスタンダードを理解し、自分自身のヴィジョンを明確に、具体的にグローバルファッションビジネスへ反映させる思考の育成。そして、プレゼンテーションスキルを磨き、伝える事の重要性を学習。	2・通年	60	2	○			○		○		
○			ビジネスプランニング	他者へと物事を伝える方法を学び、今後の活動へと応用できる技術を習得する。	2・通年	90	3	○		△	○	△		○	
○			リテールマネジメントⅠ	・ショップの管理・運営に視点を置き、ショップ運営の基本から、リサーチ・分析を通してMDやVMDなどの現状の把握を行い、提案へとつなげる。 ・ショップ運営計画の立案を通して、予実管理の方法と成功の要因を追求し、ショップの管理・運営について学ぶ。	2・通年	60	2	○		△	○	△		○	
○			ファッションマーチャンダイジングⅠ	ブランド開発を基にファッションマーチャンダイジングについての基本知識の把握をする。	2・後期	30	1	○		△	○			○	
○			計数管理	リテールビジネスにおいて必要となる売場計数の基本的知識の修得を目標とする。売場でのコミュニケーションを円滑にするために必要となる計数用語を理解すること、計算演習を通して最低限の計数管理業務ができるようになることを目指す。	2・通年	60	2	○	△		○			○	
○			ネットビジネスⅠ	インターネットをはじめとした先端テクノロジーがファッション業界に与える影響を理解し、ネットとリアルの特性を生かしたビジネスの企画立案ができるようになることを目標とする。	2・通年	60	2	○		△	○			○	○

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科2年) 2021年度

分類								授業方法	場所	教員
----	--	--	--	--	--	--	--	------	----	----

必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	企業等との連携
○			アパレル商品論Ⅱ	講義・実習を通し、アパレル業界に必要な商品知識を習得、向上を目指す。また、マーケティング・ミックスにおけるプロダクト(商品)を通して提供する価値を伝達することを、商品知識を得ることで強化する。	2・通年	90	3	○		△	○	△	○		
○			色彩活用学	ファッションを中心としたビジネスの企画・販売における色の効果を知り、その活用方法を学ぶ。 自己のビジネスプロジェクトにおいて 企画コンセプトの表現や、ビジュアル表現、プレゼンテーションに色彩の効果的な活用を目指す。	2・通年	60	2	○	△		○		○		○
○			デザイン論	19世紀末から今日までのデザイン（主にファッション以外）の歴史や視点を学習し、芸術や文化に対する教養を深める。 身の回りのいろいろなデザインを自分自身の視点で判断するための知識や感性を養う。	2・通年	60	2	○			○		○		
○			コンピュータワークⅡ	1年次に基礎として学んだオフィスソフト・グラフィックソフトを用いて、目的・用途に応じた使い分けをして臨機応変な方法でコンピュータを扱うことができることを目標とする。Webサイトを扱っていく上で必要な操作方法も扱っていく。	2・通年	60	2	△		○	○		○		
		○	ソーイングa(グローバル造形選択A)	上半身の体型を理解し、トップスリメイク実物作品を完成させて、コーディネートテクニックを学習させる。各自のデザインに応じた製作方法を指導し、理解させる。	2・前期	30	1			○	○		○		
		○	ソーイングb(グローバル造形選択A)	ボトム知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。各自のデザインに応じた製作方法を指導し、理解させる。	2・前期	30	1			○	○		○		
		○	アクセサリ- a(グローバル造形選択A)	コーディネート・撮影に使えるアクセサリーの制作【樹脂・アメリカンフラワー】	2・前期	30	1			○	○		○		
		○	アクセサリ- b(グローバル造形選択A)	用意された革の教材（パターン裁断、革漉きをしたパーツ）を使い、手縫いで革の二つ折りサイフを制作し、レザークラフトの基本知識を習得できるレベルにもっていく。	2・前期	30	1			○	○		○		
授業科目等の概要															

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科2年) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	ソーイングa(グローバル造形選択B)	上半身の体型を理解し、トップスリメイク実物作品を完成させて、コーディネートテクニックを学習させる。各自のデザインに応じた製作方法を指導し、理解させる。	2・後期	30	1			○	○		○		
		○	ソーイングb(グローバル造形選択B)	ボトムsの知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。各自のデザインに応じた製作方法を指導し、理解させる。	2・後期	30	1			○	○		○		
		○	アクセサリa(グローバル造形選択B)	コーディネート・撮影に使えるアクセサリの制作【樹脂・アメリカンフラワー】	2・後期	30	1			○	○		○		
		○	アクセサリb(グローバル造形選択B)	用意された革の教材(パターン裁断、革漉きをしたパーツ)を使い、手縫いで革の二つ折りサイフを制作し、レザークラフトの基本知識を習得できるレベルにもっていく。	2・後期	30	1			○	○		○		
○			企業研究	3年次の長期インターンシップに向けた準備。インターンシップの目的、種類、自己分析、職種研究、企業情報の収集、企業へのアプローチなどを学習する。	2・後期	60	1		○		○		○		
		○	短期語学留学b	・グローバルを視野に入れ、語学力のスキルアップを目的とする。 ・日頃の授業では得られない、語学力とコミュニケーション力を高める経験をするため。	2・後期集中	30	1			○		○	○		
		○	インターンシップa	・将来のキャリアを視野に入れ、産業界の現状を理解し、実務の経験を積むことを目的とする。 ・3年次の長期インターンシップにつなげる研修とする。	2・後期集中	30	1			○		○		○	
○			ENGLISH COMMUNICATION II	語彙や文法の確認をしつつ、英語でのコミュニケーション能力を高める。海外に対する興味や造詣を深める。	2・通年	90	3	○	△	△	○		○		

授業科目等の概要

分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	英会話a (グローバル語学選択A)	初級程度の英文法を学んだ学生を対象に、文法の復習と口頭でのアウトプットを主な目標とする。ファッションを専攻している学生を対象としているため、ファッション関連の語彙を増やすこと、ファッション関連の表現に接することにも重点を置いたプログラムとしている。レベルは初級(中位)から中級まで。	2・前期	30	1		○		○			○	
		○	英会話a (グローバル語学選択B)		2・後期	30	1		○		○			○	
		○	英会話b (グローバル語学選択A)	様々なシチュエーションを想定し、クラスメイトと英語でコミュニケーションをとる。会話中心の授業をとるため学生には積極的な発言が求められる。授業は原則として英語で行う。	2・前期	30	1		○		○			○	
		○	英会話b (グローバル語学選択B)		2・後期	30	1		○		○			○	
		○	中国語 (グローバル語学選択A)	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」をマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら文型入り、実践練習で会話表現を覚えます。初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。準中級段階では、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩表現についてトレーニングします。中検4級基準。	2・前期	30	1		○		○			○	
		○	中国語 (グローバル語学選択B)		2・後期	30	1		○		○			○	
		○	日本語 (グローバル語学選択A)	留学生が本科の授業について行けるよう全般的な日本語の学習、特に表現力をつける学習を行う。更に専門用語リストやファッションニュースで専門語彙を増やすこと、自分の作品を日本語で表現することを目標とする。相手に伝わる日本語を話すための発音練習も行う。	2・前期	30	1		○		○			○	
		○	日本語 (グローバル語学選択B)		2・後期	30	1		○		○			○	
		○	フランス語 (グローバル語学選択A)	初めて学ぶフランス語の音と仕組みに母国語とは異なる面白さを感じられるよう、個々の興味を促し、発音練習を楽しめるように講義を行う。「聴く、話す、読む、書く」を通じてフランス語の基本文法を理解しながら、挨拶と自己紹介、平易な質疑応答が出来るレベルを目指す。音楽、香り、ファッションなどフランス文化の話題も紹介し、実際にファッションブランドのフレグランスやフランス語の歌を鑑賞する機会も提供する。	2・前期	30	1		○		○			○	
		○	フランス語 (グローバル語学選択B)		2・後期	30	1		○		○			○	
授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科2年) 2021年度															

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			文化人類学	授業では、文化人類学の基礎概念を学ぶ。到達目標は、自文化を相対化しつつ多様な文化と表現の意義を理解すること。日常における身近な題材を文化人類学的視点から分析できるレベルになることが最終目標である。	2・後期	30	1	○			○		○		
○			キャリア ディベロ ップメントⅡ	・自分のキャリアについての当面目標を具体的にするため、どんな機会、職務があるかを知る ・社会人基礎力を整理しつつ、組織の成り立ちや重視される考え方、多様な働き方について学ぶ。 ・キャリア準備実行計画を立て、実現のための各種ネットワークを築く。	2・通年	60	2	○	△		○		○		
○			特別講義Ⅱ	ファッション業界の現場で働く方の講義を通じて、幅広く業界の知識を深める。	2・通年	60	2	○			○		○		
合計			16科目		960単位時間(32単位)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること		1 学年の学期区分	前・後期
		1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科3年) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	

○			マイビジネスプロジェクトⅠ	興味がある、好きだといった服飾、またはそれに関わるサービスを、マーケットの調査、ターゲットの調査等を行い、市場、ターゲットに行かに新鮮な体験とビジネスとしての収益性があるかを、具現化することができるプランにしていくステップを学ぶとともに、自らの企画のビジネスモデルと事業コンセプトを企画し、4年次の最終プランの基礎作りをマンツーマンのアドバイスをしながら行う。	3・ 通年	150	5	○	○	○	○	○	○
○			長期インターンシップ	将来のキャリアを視野に入れ、各自の専門性追及と業界・業態・職業自体への理解を深めることを目的とする。 ファッション流通分野での 後期9月から10月末の2か月間におよぶインターンシップ研修を実施。 各自のビジネスプラン「マイビジネスプロジェクト」に関連した自己開拓による国内外のインターンシップ。	3・ 後期	180	6	○	○	○	○	○	○
○			グローバルマネジメントⅠ	グローバルな視点を前提に、ビジネスとマネジメントの考え方を、大小様々なビジネスの現状にマクロ・ミクロ双方からアプローチし、勝ち残れるビジネスモデルの立案能力の取得をも視野に入れる。	3・ 通年	60	2	○	△	○	○	○	○
○			プロモーション	実際の現場で実地実践を通して、プロモーションの本質 集客 周知 イベント企画 運用 マネジメント力を学ぶ。	3・ 通年	60	2	○	△	○	○	○	○

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科3年) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ファッションマーチャンダイジングⅡ	アパレルにおけるマーチャンダイジング業務に関する知識、および根底となる考え方の習得を目指す。マーチャンダイザーが実施するマーケティング分析、スケジュール管理や実際の企画作業時に考慮する点を踏まえて講義し、実習によって身に着ける。これからマーチャンダイザーとして実務に携わる者の、基礎固めのレベルを目指す。	3・ 通年	60	2	○	△	○	○	○	○	○	

○			貿易実務	日本国内で展開販売している アパレル製品は 現状、大半が、輸入製品で、日本国内で生産している比率は非常に低いのが現実である。輸入製品にも色々種類があり、海外で生産された商品や、海外製品を、日本に持ち込むには貿易という手段を使う。貿易の基本的流れを理解することを主たる目的とする。実社会に出てから、役に立つ程度の基礎知識レベル。	3・通年	60	2	○			○	△	○			
○			タックスアカウンティング	タックス、ファイナンス、アカウンティングの意味を理解し、ビジネスの場面で対応できるレベルを目標とする。 財産と利益の把握方法、売上や利益に課せられるタックスの構造、その申告方法などについて、実践的なレベルでの解説を行う。 ファッションビジネスで活かすことができる経済感覚を養い、グローバルに活躍できる人材を育成することを目標に、講義内容を設定している。	3・後期	30	1	○	△		○		○			
		○	ソーイングa(グローバル造形選択A)	上半身の体型を理解し、トップスリメイク実物作品を完成させて、コーディネートテクニックを学習させる。各自のデザインに応じた製作方法を指導し、理解させる。	3・前期	30	1				○	○		○		
		○	ソーイングb(グローバル造形選択A)	ボトムsの知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。各自のデザインに応じた製作方法を指導し、理解させる。	3・前期	30	1				○	○		○		
		○	アクセサリa(グローバル造形選択A)	コーディネート・撮影に使えるアクセサリの制作【樹脂・アメリカンフラワー】	3・前期	30	1				○	○		○		
		○	アクセサリb(グローバル造形選択A)	用意された革の教材(パターン裁断、革漉きをしたパーツ)を使い、手縫いで革の二つ折りサイフを制作し、レザークラフトの基本知識を習得できるレベルにもっていく。	3・前期	30	1				○	○		○		

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科3年) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	校 内	校 外	専 任	兼 任		
		○	ソーイングa(グローバル造形選択B)	上半身の体型を理解し、トップスリメイク実物作品を完成させて、コーディネートテクニックを学習させる。各自のデザインに応じた製作方法を指導し、理解させる。	3・後期	30	1				○	○		○	

○		パーソナルカラー実践・演習	これまで学んできた色彩学・配色理論をベースに、ファッションビジネスの現場で実践できるパーソナルカラーコンサルティング、カラー戦略としてパーソナルカラーを習得する。似合う色を分析するドレーピング、クライアントへの対応スキル、アドバイスシート・プランニングシートの作成等を通してコンサルティング力（分析・提案）やプランニング力（企画・提案）を磨くことを目標とする。	3・前期	30	1		○	○	○								
○		デジタルPR演習	ファッションマーケティングが大きく変化する現在、PRツールとしてのデジタルメディアの使い方が重要になっています。ホームページ作成と動画編集の演習をベースに、消費者の関心、興味、共感をどうやってつかめばいいのか。最新のテクノロジーやイノベーションに対応できる統合的なPRツールの習得を目指す。使用ソフト/Adobe Photoshop / Adobe Premiere /	3・前期	30	1		△	○		○							
○		短期語学留学c	グローバルを視野に入れ、語学力のスキルアップを目的とする。日頃の授業では得られない、語学力とコミュニケーション力を高める経験をするため。	3・後期集中	30	1		○			○							
○		インターンシップb	将来のキャリアを視野に入れ、各自の専門性追及と業界・業態・職業自体への理解を深めることを目的とする。期間を1週間とする。	3・後期集中	30	1		○			○							
○		インターンシップc	将来のキャリアを視野に入れ、各自の専門性追及と業界・業態・職業自体への理解を深めることを目的とする。期間を2週間とする。	3・後期集中	60	2		○			○							
○		インターンシップd	将来のキャリアを視野に入れ、各自の専門性追及と業界・業態・職業自体への理解を深めることを目的とする。期間を3週間とする。	3・後期集中	90	3		○			○							
○		ビジネス英語Ⅱ	この授業はグローバルビジネスコースの学生を対象とする。この授業は上級のリーディングテクニックに加え、ウェブサイトの作成や学期末のビジネスプロジェクトに焦点を合わせたライティングについても取り扱う。	3・通年	90	3	○	△		○		○						

授業科目等の概要

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科3年) 2021年度

分類								授業方法	場所	教員
----	--	--	--	--	--	--	--	------	----	----

必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	企業等との連携		
		○	英会話a (グローバル語学選択A)	初級程度の英文法を学んだ学生を対象に、文法の復習と口頭でのアウトプットを主な目標とする。ファッションを専攻している学生を対象としているため、ファッション関連の語彙を増やすこと、ファッション関連の表現に接することにも重点を置いたプログラムとしている。レベルは初級(中位)から中級まで。	3・前期	30	1		○		○				○		
		○	英会話a (グローバル語学選択B)		3・後期	30	1		○		○					○	
		○	英会話b (グローバル語学選択A)	様々なシチュエーションを想定し、クラスメイトと英語でコミュニケーションをとる。会話中心の授業をとるため学生には積極的な発言が求められる。授業は原則として英語で行う。	3・前期	30	1		○		○					○	
		○	英会話b (グローバル語学選択B)		3・後期	30	1		○		○					○	
		○	中国語 (グローバル語学選択A)	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」をマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら文型入り、実践練習で会話表現を覚えます。初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。準中級段階では、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩表現についてトレーニングします。中検4級基準。	3・前期	30	1		○		○					○	
		○	中国語 (グローバル語学選択B)		3・後期	30	1		○		○					○	
		○	日本語 (グローバル語学選択A)	留学生在が本科の授業について行けるよう全般的な日本語の学習、特に表現力をつける学習を行う。更に専門用語リストやファッションニュースで専門語彙を増やすこと、自分の作品を日本語で表現することを目標とする。相手に伝わる日本語を話すための発音練習も行う。	3・前期	30	1		○		○					○	
		○	日本語 (グローバル語学選択B)		3・後期	30	1		○		○					○	
		○	フランス語 (グローバル語学選択A)	初めて学ぶフランス語の音と仕組みに母国語とは異なる面白さを感じられるよう、個々の興味を促し、発音練習を楽しめるように講義を行う。「聴く、話す、読む、書く」を通じてフランス語の基本文法を理解しながら、挨拶と自己紹介、平易な質疑応答が出来るレベルを目指す。音楽、香り、ファッションなどフランス文化の話題も紹介し、実際にファッションブランドのフレグランスやフランス語の歌を鑑賞する機会も提供する。	3・前期	30	1		○		○					○	
		○	フランス語 (グローバル語学選択B)		3・後期	30	1		○		○					○	
授業科目等の概要																	

(ファッション流通専門課程ファッション流通高度専門士科3年) 2021年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			文化人類学	授業では、文化人類学の基礎概念を学ぶ。到達目標は、自文化を相対化しつつ多様な文化と表現の意義を理解すること。日常における身近な題材を文化人類学的視点から分析できるレベルになることが最終目標である。	3・後期	30	1	○			○		○		
○			キャリア ディベロ PMENTⅢ	長期インターンシップ研修に向けた研修先の交渉・確保・手続きなど学生の主体的な準備のフォロー・サポートから、研修後のレポート作成や発表など、結果の検証までを指導することを目標とする。	3・通年	30	1	○		○	○		○		
○			特別講義Ⅲ	カリキュラム内の科目に属さない内容の集中講義で、ファッション分野を幅広く理解させる。	3・通年	60	2	○			○			○	
○			校外研修Ⅱ	研修を通し学生同士 研修先へのコミュニケーション能力向上。 研修先での体験学習 企業見学 博物館見学から得られる 知識や創造性の領域を広げる。	3・後期	60	2			○	○	○			
合計			16科目		1050単位時間(35単位)				
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること								1学年の学期区分		前・後期					
								1学期の授業期間		15週					
(留意事項)															
1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。															
2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。															
授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科4年) 2021年度															
分類							授業方法			場所		教員			

必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	企業等との連携
○			マイビジネスプロジェクトⅡ	3年までにマイビジネスプロジェクトのビジネスモデル、コンセプト、ターゲット、基本アイデアプランを基に、計数計画を持って、実現可能なMD、VMD、内装や陳列、サービス、顧客管理、接客方法、プロモーションを計画するとともに利益の出るプランを考え、プレゼンテーションをする。そのために各自マンツーマンで指導。	4・通年	150	5	○		△	○				○
○			グローバルマネジメントⅡ	海外ファッション流通業の動向、問題点、この先の見通しと日本企業が海外展開する上での成功と失敗事例から、グローバルビジネスに欠かすことのできない様々な知見を習得。	4・通年	90	3	○		△	○		○		
○			プロモーション戦略	MBPの授業を基本としながら、そのプランに必要なプロモーションプランの作成を行う。プロモーションとは目的、目的達成のための数値目標を明確にし、その達成のためのメディア、ツール、クリエイティブとその効果と予算を決定し、PDCAで分析することであり、そのプロセスでプランニングを行う。各自のプランに合わせたプラン作成を行うため、マンツーマンでフォローアップしていく。	4・通年	60	2	○		△	○				○
○			マーチャндаイジング戦略	アパレル小売業におけるファッションマーケティングの把握。リテール MD についての計画立案から仕入れ先取り組み、店頭展開までの基礎知識の習得と業務の理解。	4・通年	60	2	○		△	○		○		○
○			商品プロダクト戦略	アパレル産業の業務の内、生産実務についての理解を深める。アパレル製品の仕様や縫い目、副資材などの細部に至る品質を見極め、商品企画内容を生産に反映させるための基礎力をつける。生産依頼をする際の帳票の内容を理解し、作成ができるレベルを目指す。	4・通年	60	2	○		△	○		○		
○			Webマーケティング	アパレル系企業のマーケティング部門およびPR部署に就業した際、その後のキャリア形成において大きな貢献ができるようWebマーケティング領域の知識や経験を積むこと。	4・通年	60	2	○		△	○		○		○
○			ファッションロー	ファッションビジネスに関連する法律について知的財産制度を中心に概略を紹介する。将来ファッションビジネスに携わる際の法的問題に“気づき”を得ることを目標とする。	4・前期	30	1	○			○				○
授業科目等の概要															

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科4年) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ファイナンス	ビジネスの世界で「事業戦略」とともに車の両輪をなす「ファイナンス戦略」の基本的なエッセンスを学ぶ。会社に投資を行う投資家の思考を理解したうえで、マイビジネスプラン(MBP)にリアリティを備えるためのファイナンス手法の理解を目標とする。	4・前期	30	1	○			○		○		
		○	ソーイングa(グローバル造形選択A)	上半身の体型を理解し、トップスリメイク実物作品を完成させて、コーディネートテクニックを学習させる。各自のデザインに応じた製作方法を指導し、理解させる。	4・前期	30	1			○	○		○		
		○	ソーイングb(グローバル造形選択A)	ボトムsの知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。各自のデザインに応じた製作方法を指導し、理解させる。	4・前期	30	1			○	○		○		
		○	アクセサリa(グローバル造形選択A)	コーディネート・撮影に使えるアクセサリの制作【樹脂・アメリカンフラワー】	4・前期	30	1			○	○		○		
		○	アクセサリb(グローバル造形選択A)	用意された革の教材(パターン裁断、革漉きをしたパーツ)を使い、手縫いで革の二つ折りサイフを制作し、レザークラフトの基本知識を習得できるレベルにもっていく。	4・前期	30	1			○	○		○		
		○	ソーイングa(グローバル造形選択B)	上半身の体型を理解し、トップスリメイク実物作品を完成させて、コーディネートテクニックを学習させる。各自のデザインに応じた製作方法を指導し、理解させる。	4・後期	30	1			○	○		○		
		○	ソーイングb(グローバル造形選択B)	ボトムsの知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。各自のデザインに応じた製作方法を指導し、理解させる。	4・後期	30	1			○	○		○		
		○	アクセサリa(グローバル造形選択B)	コーディネート・撮影に使えるアクセサリの制作【樹脂・アメリカンフラワー】	4・後期	30	1			○	○		○		
		○	アクセサリb(グローバル造形選択B)	用意された革の教材(パターン裁断、革漉きをしたパーツ)を使い、手縫いで革の二つ折りサイフを制作し、レザークラフトの基本知識を習得できるレベルにもっていく。	4・後期	30	1			○	○		○		

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科4年) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ユニバーサルファッション	「ファッション・装い」とはどのような意味があるのかを、健常者・障がい者・高齢者という枠ではなくユニバーサルな視点で捉え、クオリティオブライフの向上に通じるファッションについて、人体の経年変化に伴う形態機能障害や先天的あるいは後天的障害における身体機能の変化も踏まえ理解させる。	4・前期	30	1	○			○		○		
○			現代社会とファッション	歴史、構成、配色や市場のトレンド、さらにファッションをとりまく政治・経済・文化・社会全体のグローバルな流行の操作を分析し、ファッション・プロモーションに不可欠な知識を会得することを目的とする。	4・通年	60	2	○			○		○		
○			国際政治学	世界政治の学習を通じて国際関係の基礎を理解することにより、グローバルなビジネスデザインに必須の思考の基礎体力をつくることを、本講義の目的とする。	4・前期	60	2	○			○		○		
○			コーチング	自分を活かし、人を活かすコミュニケーションを学ぶことで、ビジネスの世界で自分の能力を開花し、「プロの表現者」へと成長すること。到達目標は「共有から共感にいたる聞き方」「相手の理解と共感を得る伝え方」をマスターすること。	4・後期	30	1	○			○			○	
		○	インターンシップe	社会に出てからのキャリア向上にむけ実務体験をする。各自それぞれの能力に合わせ設定できる自由選択とする。	4・後期集中	30	1			○		○		○	
		○	インターンシップf	社会に出てからのキャリア向上にむけ実務体験をする。各自それぞれの能力に合わせ設定できる自由選択とする。	4・後期集中	60	2			○		○		○	
		○	インターンシップg	社会に出てからのキャリア向上にむけ実務体験をする。各自それぞれの能力に合わせ設定できる自由選択とする。	4・後期集中	90	3			○		○		○	
		○	インターンシップh	社会に出てからのキャリア向上にむけ実務体験をする。各自それぞれの能力に合わせ設定できる自由選択とする。	4・後期集中	120	4			○		○		○	

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科4年) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ビジネス英語Ⅲ	この授業はグローバルビジネスコースの学生を対象とする。この授業は上級のリーディングテクニックに加え、ウェブサイトの作成や学期末のビジネスプロジェクトに焦点を合わせたライティングについても取り扱う。	4・ 通年	60	3	○	△		○	○			
		○	英会話a (グローバル語学選択A)	初級程度の英文法を学んだ学生を対象に、文法の復習と口頭でのアウトプットを主な目標とする。ファッションを専攻している学生を対象としているため、ファッション関連の語彙を増やすこと、ファッション関連の表現に接することにも重点を置いたプログラムとしている。レベルは初級(中位)から中級まで。	4・ 前期	30	1			○	○			○	
		○	英会話a (グローバル語学選択B)	初級程度の英文法を学んだ学生を対象に、文法の復習と口頭でのアウトプットを主な目標とする。ファッションを専攻している学生を対象としているため、ファッション関連の語彙を増やすこと、ファッション関連の表現に接することにも重点を置いたプログラムとしている。レベルは初級(中位)から中級まで。	4・ 後期	30	1			○	○			○	
		○	英会話b (グローバル語学選択A)	様々なシチュエーションを想定し、クラスメイトと英語でコミュニケーションをとる。会話中心の授業をとるため学生には積極的な発言が求められる。授業は原則として英語で行う。	4・ 前期	30	1			○	○			○	
		○	英会話b (グローバル語学選択B)	様々なシチュエーションを想定し、クラスメイトと英語でコミュニケーションをとる。会話中心の授業をとるため学生には積極的な発言が求められる。授業は原則として英語で行う。	4・ 後期	30	1			○	○			○	
		○	中国語 (グローバル語学選択A)	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」をマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら句型入り、実践練習で会話表現を覚えます。初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。準中級段階では、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喻表現についてトレーニングします。中検4級基準。	4・ 前期	30	1			○	○			○	
		○	中国語 (グローバル語学選択B)	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」をマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら句型入り、実践練習で会話表現を覚えます。初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。準中級段階では、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喻表現についてトレーニングします。中検4級基準。	4・ 後期	30	1			○	○			○	
		○	日本語 (グローバル語学選択A)	留学生が本科の授業について行けるよう全般的な日本語の学習、特に表現力をつける学習を行う。更に専門用語リストやファッションニュースで専門語彙を増やすこと、自分の作品を日本語で表現することを目標とする。相手に伝わる日本語を話すための発音練習も行う。	4・ 前期	30	1			○	○			○	
		○	日本語 (グローバル語学選択B)	留学生が本科の授業について行けるよう全般的な日本語の学習、特に表現力をつける学習を行う。更に専門用語リストやファッションニュースで専門語彙を増やすこと、自分の作品を日本語で表現することを目標とする。相手に伝わる日本語を話すための発音練習も行う。	4・ 後期	30	1			○	○			○	
		○	フランス語 (グローバル語学選択A)	初めて学ぶフランス語の音と仕組みに母国語とは異なる面白さを感じられるよう、個々の興味を促し、発音練習を楽しめるように講義を行う。「聴く、話す、読む、書く」を通じてフランス語の基本文法を理解しながら、挨拶	4・ 前期	30	1			○	○			○	

		○	フランス語 (グローバル 語学選択B)	<p>挨拶と自己紹介、平易な質疑応答が出来るレベルを目指す。音楽、香り、ファッションなどフランス文化の話題も紹介し、実際にファッションブランドのフレグランスやフランス語の歌を鑑賞する機会も提供する。</p>	4・ 後期	30	1		○	○				○
--	--	---	---------------------------	---	----------	----	---	--	---	---	--	--	--	---

(ファッション流通専門課程グローバルビジネスデザイン学科4年) 2021年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			特別講義Ⅳ	カリキュラム内の科目に属さない内容の集中講義で、ファッション分野を幅広く理解させる。	4・通年	60	2	○			○			○	
○			卒業研究・創作	卒業研究創作テーマ：マイビジネスプロジェクトにおいて、実施検証した事柄について各自の発表のための準備実働時間。その後のコンテンツ配信 フィードバック考察までを学ぶ。	4・後期	120	4	△		○	○		○		
合計				16科目				990単位時間(33単位)				
総合計				69科目				4110単位時間(137単位)				
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること								1学年の学期区分				前・後期			
								1学期の授業期間				15週			
(留意事項)															
1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。															
2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。															